「生活デザイン科 」ということで得られた成果は何ですか。
日常生活に役立つ知識を身につけることができた。知識だけでなく、実際に調理実習や赤ちゃんの授業などでよりリアルに学ぶことができた。
部屋の間取りや保険のことについて学ぶ機会があり、今後の人生で役に立つことを学ぶことができたこと。
これから生きていく上で必要な知識
刺繍のやり方や、調理道具の使い方などが分かり、赤ちゃんの扱い方やお金の制度、消費者について、介護についてなど社会に出た時に役立つ知識がえられた。
実用的な知識、技能
調理や裁縫、育児など生きていく上で不可欠な技能
普段生活していて何気なく見逃している季節についてや、裁縫、料理などの最低限と知識を得ることが出来た。
普段の日常生活で必要な家事スキルは、日頃の生活の中で自然と鍛えられていく。一方で、それ以外の分野は意識して学ばないと偏りが生まれてしまう。生活デザイン科では、そうした普段触れない部分も含めて、生きていく上で必要な最低限の知識を身につけられたことが大きな成果だと思う。
生活する上での一般常識を学ぶことができた。赤ちゃんのあやし方や詐欺への知識など、将来生活する上で大事な知識が得られた。今まで、家族に頼ってきて知らなかった事も、身をもって学ぶことができた。
金融消費、保険の仕組みなど、社会科に比べて、より生活に寄った社会問題、社会規範について知ることが出来た。
アイロンのかけ方、保険の仕組み、お金の支払い方法の種類、食品衛生についてなど、生活する上で重要なことを知ることが出来た
生活力
身近な家事に対するイメージを具体化する事が出来た。
裁縫、調理実習だけでなく、社会保障や保険など社会に出たときに、社会人として知っておくべき生活に必要な知識を得ることができた。
僕たちが生きていく中で大切な教養を身につける
ただ、実習を行うだけではなく、なぜこれが自分の人生に必要なのかがしれたことで、興味がより引かれたこと。
詐欺に引っかかりにくくなった。 ステマに気づきやすくなった。クーリング・オフ等の使用ができることを知って、安心して一人暮らしが送れそうだと思った。おいしい料理がつくれるようになった。家にある形じゃないミシンを使えるようになった。縫い物がさらに得意になった。社会保障についてちょっと分かった。介護の大変さを知った。認知症について詳しくなった。
ミシンや料理など生活に必要なことの基本を知り、赤ん坊、高齢者の特徴など生きていくうえで関わってくることも学ぶことができた。
・キャベツとレタスの見分けがつくようになったこと ・綿花をよる経験ができたこと ・みんなで料理をすることの大変さを知れたこと ・不動産選びについてよく学べたこと ・リボ払いの仕組みやあまりよろしくない理由について理解できたこと ・育児の大変さを身をもって体験することができたこと

「生活デザイン科 」ということで得られた成果は何ですか。
日本や世界の衣食住、人生計画、消費生活など基本的な生活技術や知識を理解し、実習や製作を通して身に着けたこと。介護実習や幼児の世話の実習は単に家庭科という教科では体験することはできないが、現代日本を見ればわかる通り、将来確実に必要になるスキルである。また、料理の作り方、物件の選び方など現実的な事柄と、伝統的、風土的な意味のある衣食住の文化などの教養を、区別することなく関連付けて学べたことで、よりこれらを日常生活に近づけて捉えることが出来るようになったこと。
家庭基礎が比較的教科書に載っている栄養、子育て、介護など家庭について学ぶ一方で、生活デザイン科ではエプロンを作る、クロスステッチを作る、幼児体験をするのような簡単で短時間で行えるような実習をした。そこでは、実生活の基となる家庭基礎への理解を深めたり、興味を高めることができた。 ミシンや手芸用針、糸を用いて何かを制作する際には、集中力や繊細さが必要だった。そこでは1人で黙々と物事を作る楽しさを感じ取れた。
料理の技能
最低限の生活力
料理の基礎、税など自立して生活する上で必要な知識
日常生活に必要な知識、1人で生きていく上で必要な知識について学ぶことができた。
調理、手芸、消費者生活にまつわる技能や知識
これからの生活を送っていく上で重要なことを多く学べた。
生きていくのに必要な常識力
1人で生きていく上で必要な日常生活に関する知識を学ぶことができた。
手先の器用さ
生活で必要な力
街中で見かける不動産の広告やインターネットには蔓延る詐欺広告に対して「これが生活デザイン化でやったことか」と面白かった。
刺繍
裁縫の技術、投資などの社会での知識
料理
生活に必要な能力
調理実習で新しい料理を学べたこと。 裁縫の楽しさ。
生活力
保育、食生活、高齢化社会など様々な分野について学べた。
育児や介護の仕方を正しく学ぶことができた。

「生活デザイン科 」ということで得られた成果は何ですか。
保険関係・育児等
まる
料理の基本と裁縫の基本
とくにない
生活についてや、身の回りに起こるトラブルへの対処法や、調理実習という体験。協力して一つの物を作り上げれたという成果
裁縫の使い方や職に関する知識を身につけることができた。
生活力、栄養に関する生きる上で必要なこと
女子力
生活していく上で、必要だがこれまで自分が行ってこなかったものへの意識向上
料理や西方のスキル
日常生活の上での様々な事柄への注意を向ける機会になった
実学的教養。
生活の知恵
魚や肉の下準備や蒸し器の使い方など特殊な調理法を学ぶこと。
献立や栄養素、不動産、養育などの生活必須スキル
日常の生活力を上げる情報と行動の仕方
ボタンを着けることができるようになった。 人間の発達について学ぶことができた。
家事力
裁縫や料理など生きていく上で便利なスキルを習得することができた。また子育てや介護、共同生活、住まい探し等様々な社会生活の疑似体験を通してその困難さを知り、将来について考えるきっかけになった。
赤ちゃんの扱いが分かった。
料理をする際に気を付けなければいけないことを学ぶことができた。また、裁縫など日常的に必要になる技能を身につけることができた。
赤ちゃんのこと
調理器具の使い方を知れた

「生活デザイン科 」ということで得られた成果は何ですか。
社会で生きていくうえで必要最低限に大切なことを学べる
・家賃や生活費に関することなど将来一人暮らしをする際に必要な知識がついた
生きていくために必要なことを学べました。完璧とは言わずとも、取り掛かることができる程度の知識を得られました。
実生活に潜む様々なリスクや社会人として必要なスキルを得ることができた。国語や英語、数学など、テストや受験で使うような科目も論理的思考などを育む重要な教科だが、知らなければ損をするどころか取り返しのつかないような途轍もない失敗を犯してしまいかねないような重要な事柄を学生のうちに知ることができた。
離乳食などこれから使える知識を知れた
軽い調理の仕方や、一人で生活していくための基礎知識
株とか、家買うときの注意とか、これからの人生に生かせそうな知識がいっぱいついた
ミシンの使い方を再確認できたのと、ピラフを炊くことでできるとは知らなかった
nai
家庭科は不器用なので比較的嫌いだったが、3年の時のクロステッジなどから家庭科にも前向きに取り組めるようになった。また、消費者の問題など生きていくうえで必要なことを具体的に勉強できたので楽しく学ぶことができた。
金融の仕組みや赤ちゃんの取り扱いなど、大人になってから実際に使うことを学ぶことができ、大人になってからの生活を想像することができた。
自分で生活するにあたって意識が高まった
裁縫や料理、家計など家庭に関係することを多く学べた。
裁縫や料理の基本の知識を得ることができた。
エシカル消費など、身の回りの消費生活やシェアハウスなどの住む場所の在り方や、ゲームをとおした生活デザインの学び（避難場所等） 調味料など、生活するうえでの食事を彩るものについて学べた。
料理の仕方など大まかな生活知識を知った。また、金融関係についても知った
一人暮らしをする上で必要そうなことを学べました。
社会保険や年金などの社会保障関連の事柄から、様々な消費方法や詐欺などの日常的な事柄まで幅広いことを学ぶことができた。
普段は家で一人で行っていることを、実際に先生から手芸や料理について教えてもらったり、みんなで同じペースで進めていったことから、将来実際に教える側になった場合はどのようなことをすべきか考える事ができるようになった。
生活デザインでは、知ってはいるけど、ちゃんとは知らないようなことをたくさん学びました。株や投資を学んだり、職業のことを学んだり様々なことに関心を持てました。特に1人でや班でデモンストレーションをするような授業が楽しかったです。また、プリントがわかりやすく工夫されていて授業を受けるのも楽しかったです。印象に残っている授業は赤ちゃんの授業で、将来自分がしているかもしれないと思うとかなりの責任感を感じました。
ミシンを使えるようになった

「生活デザイン科 」ということで得られた成果は何ですか。
栄養や消費生活に関する知識、詐欺に対する防犯意識、基本的な裁縫技術、ミシンの使い方など今後の日常生活を送る上で必要なことを学ぶことができた。
裁縫や調理の知識だけでなく、社会に出たときに活かすことのできるお金や子育てに関することを学ぶことができ、授業を通して自分の将来を考えることができた。
税金や家庭などの生活に必要な知識や技能を学ぶことができた。
この先生きていく上で必要となる最低限の知識と技術
生きていく上で必要な教養